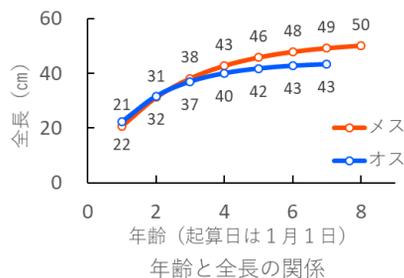


アイナメ

1 生態

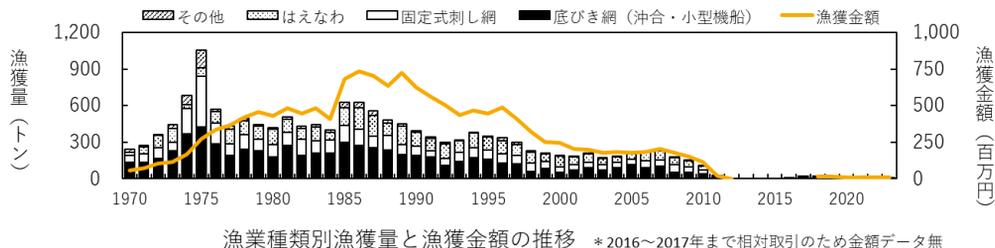
- ・日本各地の沿岸に生息し、朝鮮半島と黄海沿岸にも分布します。
- ・オスは満1歳、メスは満2歳で一部が成熟します。産卵期は12～1月で、産卵様式は多回産卵型です。繁殖期のオスには黄色の婚姻色が現れ、産卵後の卵塊を保護します。
- ・貝類、イカ類、甲殻類、魚類、多毛類などを食べます。



* 福島県水試研究報告第8号 (1999) により右図を作成

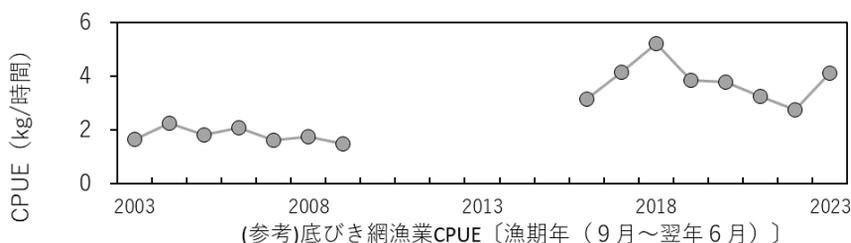
2 漁業に関する情報

- ・底びき網、刺し網、はえなわで周年漁獲されています。
- ・2023年（令和5年）の漁獲量は6.2トン、金額は8.1百万円でした。
- ・2011年3月の震災以降、操業自粛や国による出荷制限で水揚げはありませんでしたが、2016年（平成28年）9月から再開されています。



3 資源の状態

- ・近年の漁獲量は震災前と比較して、大きく減少していることから、資源は低位で推移しているものと考えられます。
- ・漁獲量は非常に少ない状況ですが、底びき網漁業のCPUE（曳網1時間あたりの漁獲量）は、震災以前よりも高い値で推移しています。



4 資源管理の取組み

- ・1998年（平成10年）から全県で資源管理計画に基づいた漁獲サイズ規制（全長15cm未満の水揚げ禁止）を実施しています。